TOWN TOPICS

中谷さん 全国体育指導委員功労者表彰

平成18年度全国体育指導委員功労者として、安曇川町在住の中谷宗吉さんが選ばれ、11月16日(木)、大分県で開催された全国大会の席で表彰を受けられました。

中谷さんは、地域の体育事業はもとより、滋賀県体育指導委員協議会の役員としても活躍され、滋賀県の体育事業の推進に尽力されました。

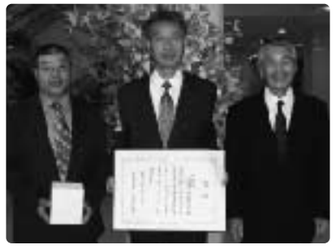
今後も体育指導委員として、ご活躍ください。

(市民スポーツ課)

針江区 農林水産大臣賞受賞

新旭町の針江区が、「平成18年度豊かなむらづくり全国表彰事業」で農林水産大臣賞を受賞されました。

この事業は、農林水産業の振興を中心に、生活、文化等を含む幅広い地域活動を展開し、地域の活性化を図っている優良な団体に対して行われるものです。



針江区では、平成2年に「針江げんき米栽培グループ」を結成し、減農薬・減化学肥料米の栽培を始められ、その後も、常に栽培技術の向上、環境にやさしい米づくりに取り組まれています。また、平成16年には「針江生水(しょうず)の郷委員会」をつくり、来訪者の案内や湖辺のヨシ刈りなども行っています。

排水を琵琶湖へ流す市民として、針江区民が、環境に配慮した多くの活動に取り組まれてきたことが高い評価を受け、今回名誉ある受賞となりました。

(農業振興課)

藤戸さん、高島マグマズ 文部科学大臣表彰

平成18年度生涯スポーツ功労者・生涯スポーツ優良団体として、藤戸時三さん(剣道:個人)と高島マグマズチーム(ソフトボール:団体)が選ばれ、10月3日(火)東京の虎ノ門パストラルにおいて文部科学大臣より表彰されました。

生涯スポーツ功労者 藤戸時三さん

昭和30年代から剣道の指導に当たられ、高島市や滋賀県剣道連盟の役員として組織運営にも尽力されているほか、現在も地元の少年剣道の指導をされるなど、剣道の普及と地域スポーツの振興に大きく貢献されています。

生涯スポーツ優良団体 高島マグマズ

県や市の大会で優秀な成績を収めるほか、年間を通じてソフトボール教室や町民ソフトボール大会など自主事業を開催して地域スポーツの振興に努めるとともに、地域のボランティア活動等にも積極的に参加されています。

(市民スポーツ課)

本年度 高島市PTA連絡協議会発足

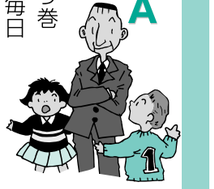
今、子どもたちを取り巻く教育環境・社会環境は毎日刻々と変化しています。そして子どもたちは、その小さな身体で救いを求めています。

豊かさや、便利さを追い求めてきた結果、家庭では子どもの虐待、超過保護等の養育力や教育力の低下がみられるようになり、また地域社会にあっては、人間関係や規範意識の希薄化は、子どもたちが安全に安心して育つ場所を奪いつつあります。更に情報技術の急激な進歩により、無防備に子どもたちに有害情報にふれる機会をもたらし、このことも子どもたちに様々な影響を及ぼしています。

今こそ、子どもたちと共に深い愛情でつながりあい約4,400人の会員が「大好きだよー」という「思いやり」のメッセージを伝え、家庭・学校・地域社会が一体となって『あなたが大好きソートフル(思いやり)4373』をスローガンに高島市PTA連絡協議会(市P連協)を発足致しました。(4373は発足時の会員数です。)

市P連協の設立に向けて、ご尽力いただいた方々に感謝を申し上げますとともに、会員皆さんのご家庭の安寧と、市P連協のますますの連携・活動が将来にわたる指針となることを願っております。地域社会の皆さんにもどうかよろしくお願い致します。

高島市PTA連絡協議会
会長　中川　昌光(今津西小学校)



市長日記

全国青年大会から帰ってきた選手団から演劇の最優秀賞2連覇をはじめ、柔道、卓球、ボーリング、砲丸投げで大活躍との報告を受けました。今秋は、ねんりんピックや全国障害者スポーツ大会、居合道全国大会など高島市から多くの滋賀県代表選手が生まれました。初心者から今日までの努力が貴いのですね。

先日はOBC高島が今津スタジアムに欽ちゃん球団を迎え、過去最多の3千人の有料入場者を前に熱戦を繰り広げ、延長の末勝利しました。最初は欽ちゃんを見に来た人も、最後は一緒になってOBC高島を応援し野球の醍醐味に魅了されました。去年の今頃は、まだ何も実体がなかったことを思うと1年という時は偉大です。この市民1年生集団にスポーツで街が活性化すること、地方がソフトによって中心になれること、意欲あるところに人が集まることを教えられました。

これまでOBC高島に補助金は一切出ていません。球場使用料もしっかり頂いており、利用の低かった"今スタ"は元気の源に変わりました。偏(ひいき)に彼らのアイディアと努力、そして地元企業と市民の皆さんのご支援の賜物です。正に市民力で動いているのです。

11月1日、桜美林学園の佐藤理事長ならびに李中華人民共和国駐日本国大使館公使をお迎えし、桜美林大学孔子学院高島学堂の開設を協定いたしました。中国政府が中国語と中国文化を学ぶ機会を広げるため、全世界で100大学に孔子学院の設立を進めておられ、日本では桜美林大学はじめ5校が選ばれています。

この桜美林学園の創始者清水安三先生は新旭の北畑区に生まれ、藤樹先生とヴォーリズさんの教えを胸に北京の朝陽門外で1921年に崇貞学園を興し、戦後は無一文から東京郊外の町田で桜美林学園を興されました。かつて安三先生が故郷に短大をとの夢は叶いませんでしたが、教えを継ぐ方々のお力添えで、アジアと世界に橋を架ける高島学堂が実現します。

学堂長は松本孝太郎先生にお願いし、中江藤樹記念館に本拠を置き、梅の花咲く頃から動き始めます。

西万木区の秋祭りで「息子の嫁さんが中国の桂林出身なんやが、会話ができん。中国語で話したいんや」と仰る方がありました。2008北京オリンピックも目前。企業の要望もあり、多様な「学びたい」を熱烈歓迎です。

記念講演ではかつての日本人は漢文と和文を操り、公式文書は漢文であったこと、その力で文明開化以後、欧米から入ってきた観念を翻訳し「経済」「労働」「哲学」「美術」…「共産主義」などの言葉を作ったこと、後に中国が共通語を作る際、日本生まれの用語を取り入れたと教わりました。漢文の素養を無くした日本人は英語も苦手?

今年はどんな一年でしたか。師走を迎え気忙しいですが暖かい人でいられたらいいですね。しっかり気張って感謝で締めくくりましょう。新魂で新春を迎えるリレーゾーンに入りました。

海東英和　拝

シリーズ 環の郷(わのさと) その十二

「挑戦する高島市」を目指して

市では、先に滋賀県の認定を受けました「びわ湖・里山観光振興特区計画」を具現化する取り組みとして、市内の資源を活用し事業化に向けた、ビジネスプランオーディションを開催しています。

●オーディションの特徴

このオーディションは単に優秀な起業計画(ビジネスプラン)を競うのではなく、計画の具現化に向け、外部専門家や市による支援・助言を行うとともに、審査機会を通して事業の実現性を見極めるもので、実現可能な計画については次のような支援を行います。

＊外部専門家による起業・経営相談
＊市の支援制度の紹介
＊特区事業計画に基づく起業計画については、特区事業者としての推薦

●応募状況

8月31日までの募集で29人の方から31件の応募がありました。応募者の内訳は、市内の方が23人、市外からは6人です。

地元農産品を活用した物品製造販売や飲食店の経営、観光・地域プロデュース事業、インターネット販売やポータルサイトの開設、バイオマスやBDFを活用した事業、エコツーリズムの事業化など、本市を舞台とした多くの起業計画が提出されました。

●今後の予定

応募者への全体・個別研修会(サポートプログラム)、2次審査会を経た後、最終審査では、一般公開によるプレゼンテーションを行い、事業のパートナー発掘や地域への認知度を高めていく機会を予定しています。

これからも「挑戦できる高島市」の実現に向け、市民の方々と協働で取り組みをすすめていきたいと考えています。

問 営業開発室
☎(25)8515